

スマートアイランドモデル分科会

代表者：愛媛大学 大学院理工学研究科教授 野村 信福

コーディネーター：愛媛大学 野村 信福、愛媛大学 松村 暢彦、愛媛大学 和田 寿博、愛媛大学 井口 梓

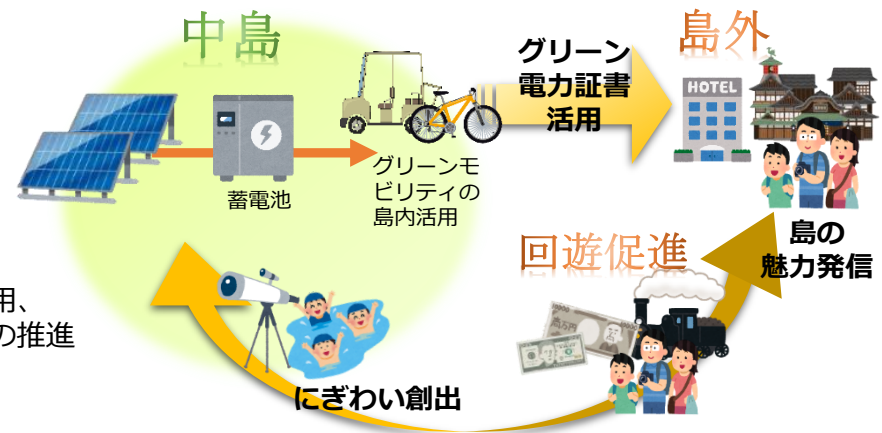
会員数：15 団体

(株)アイシン、(株)いよぎん地域経済研究センター、(株)エス・ピー・シー、(株)愛媛銀行、えひめ住販、帝人(株)、(株)デンカシンキ、(福)島寿会、トヨタカローラ愛媛(株)、NPO法人農音、松山市、松山東雲短期大学、三井住友海上火災保険(株)愛媛支店、(一社)をかしや、METANAKAJIMA-COMMUNITY

設置の目的	離島・中島が抱える人口減少や少子高齢化、エネルギーの脆弱性などの地域課題を解決し、将来にわたって持続可能なスマートアイランドを実現する						
目指す姿 ゴール	【環境】豊かな自然環境との共生 【社会】快適で安全安心な暮らし 【経済】島のにぎわい の同時実現						
							

分科会での活動内容と期待される成果

- ①自立分散型エネルギーの拡大**
 - ・太陽光や風力など再生可能エネルギーの地産地消の拡大
 - ・再エネを貯めて、賢く使う仕組みの拡大
- ②利便性が高く安全安心な交通網の整備**
 - ・EVなど環境にやさしいモビリティの普及拡大
 - ・最先端技術の活用による利便性の向上
- ③島のにぎわい創出**
 - ・グリーン電力証書の活用等とおした地域の魅力度向上
 - ・島の魅力をいかした観光コンテンツの充実やSNS・動画配信の活用、市内回遊を促す仕組みの構築等によるサステナブルツーリズムの推進
- ④取組の情報発信・横展開**
 - ・取組効果の検証と情報発信
 - ・同様の課題を抱える地域への横展開



✓低炭素化・防災力強化 ✓移動の利便性向上 ✓にぎわい創出・経済循環

ゴール達成に向けた指標

- 【環境】温室効果ガス削減
- 【経済】島のにぎわい創出
- 【社会】災害等による停電時に使用できるエネルギー確保、島内の移動の利便性向上